

主要施策

# 1

## 自然と

# 共生するまち



### 基本的な方向性

自然環境とそれに支えられた生活文化を守り育むため、自然との共生と持続可能な社会の実現に向けた取組を進めます。

自然景観や歴史文化景観のさらなる活用に向けての取組を進めます。

## 社会を取り巻く状況とこれまでの取組

### 自然環境を活用した地域の活性化

- 海・山・川の豊かな自然環境を次世代に確実に引き継ぐため、自然景観の保全に努めるとともに、魅力ある地域資源として活用を図るため、山陰海岸ジオパークの取組を通じた地域活性化に取り組んできました。

### 地域清掃活動の継続的な推進

- 「クリーン但馬 10 万人大作戦」では、区（自治会（区））や住民団体が中心となって実施するボランティア清掃に町・協力事業者の車両提供を行い、官民一体となった地域清掃活動を継続的に行っています。環境美化推進協議会では、警察、県とともに不法投棄防止パトロールを年 2 回実施し、住民が地域の状況を知る機会となっています。また、但馬西部河川海域環境保全協議会による小学生を対象とした海岸漂着ごみ調査、川の生き物調査、環境ポスター展等、子どもの環境学習の機会を設けています。

### 歴史文化景観の保護

- 歴史文化景観の維持を図るため、指定文化財整備事業に対して補助を行うとともに、地域の公共の場所、沿道等に花等を植える取組を行う住民組織の「花づくり団体」に対し補助を行い、地域の景観を自ら美しくする活動を支援しました。

## 今後の取組の方向性

### 環境に優しいまちづくりの推進

- 太陽光や水力をはじめとした再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの推進等による低炭素社会の構築を進め、環境負荷の低減を図り、環境に優しいまちづくりに努めます。

### 継続的な環境保全活動の推進

- 道路網が整備されるなかで、交通量が減少した幹線道路の法面等、不法投棄の温床となる箇所が増加しており、河川を通じて海に流出し、海を汚すことにつながるおそれがあります。そういった地域における投棄ごみや漂着ごみは、来訪者へ悪いイメージを与えるだけでなく、地域環境へ悪影響を及ぼすことから、地域環境を守る意識の啓発と活動を継続的に行います。

### 良好なまちの景観の維持

- 歴史文化景観を形成する要素となり得る未指定文化財を含む歴史文化遺産に対する補助制度の検討とあわせ、先人から引き継がれてきた農山漁村の風景を保全し、次代に承継する取組を検討します。また、ボランティアによる地域の植栽、美化活動等を支援することで、良好なまちの景観の維持につなげ、地域に誇りをもてる取組を行うとともに、農山漁村の景観を損なう要因となり得る、集落周辺の耕作放棄地等を有効に活用する取組を検討します。

## 具体的な施策

### 低炭素社会の推進

地球温暖化対策の推進や公共施設等への再生可能エネルギー設備の導入促進による低炭素社会の構築を進めるとともに、資源や自然環境が適切に管理されることで経済や社会の活動が維持される「持続可能な社会」の実現へ向けた取組を推進します。

### 快適で住みやすいまちづくりの推進

「クリーン但馬 10 万人大作戦」等の環境保全ボランティア活動を継続的に支援するとともに、不法投棄が多い箇所のマッピング情報、水質検査結果の公開等により、地域の環境をより多くの住民へ周知します。

また、小学生を対象とした漂着ごみ調査等を継続実施し、子どもの頃から環境の大切さを学ぶ機会をつくり、住民自らの手で地域の環境を守る意識の醸成を図ります。

### まちの景観の保全・形成

歴史文化景観を形成する要素となり得る歴史文化遺産に対する補助制度の創設とあわせ、先人から引き継がれてきた農山漁村の風景を保全し、次代に承継する取組を行い、自然と歴史、伝統が息づく景観を守るとともに、「花づくり団体」をはじめとした美化活動を行う団体を支援することで、地域の景観を自ら創出する運動を推進します。

また、耕作放棄地に景観形成作物を導入するなど、農山漁村景観に配慮した農地の活用を図ることで、美しい景観の形成・維持に努めます。



## 〈 対応する SDGs の項目 〉



## 施策指標

	2014 年度 (前回値)	2019 年度 (現状値)	2025 年度 (目標値)
「木の駅プロジェクト」参加者数 (人/累計)	...	109	120
「クリーン但馬 10 万人大作戦」への住民の 参加率 (%/回)	...	27.0	32.0
まちの景観保全について『満足※』と回答し た住民の割合 (町民アンケート調査) (%/年間)	...	-	10.0
※「満足」と「やや満足」の合計			

## 〈 関連個別計画 〉

## 〈 やってみよう 〉

- 再生可能エネルギーの利用
- 不法投棄パトロールへの参加

主要施策

## 2

# 環境への責任を 果たすまち



### 基本的な方向性

継続的なごみの減量化や資源化の啓発を進め、循環型社会の構築を進めます。

# 社会を取り巻く状況とこれまでの取組

## 環境配慮行動の推進

○北但ごみ処理施設「クリーンパーク北但」の稼働に先駆け、ごみの分別を5分別から9分別に変更し、ごみの資源化促進を図りました。あわせて、「ごみの分け方・出し方ハンドブック」を作成し、ごみの分別ルールを周知徹底するとともに、マイバッグ運動やエコキャップ回収、資源ごみ回収等、環境に配慮した行動を推進しました。

## ごみの適正処理と不法投棄対策の推進

○「クリーンパーク北但」でのごみの適正処理を推進するため、収集運搬体制の充実を図るとともに、環境美化推進協議会推進員がごみステーションの管理、出し方指導を担うことで、ごみを地域の問題として捉える活動を行いました。また、広報誌等による啓発とあわせ、環境美化推進隊による沿道等の除草作業、不法投棄防止看板設置、不法投棄ごみ回収等による不法投棄ごみ対策を行いました。さらに、漁業者による海岸漂着ごみ回収や観光事業者や区（自治会（区））による海岸清掃ボランティアへのごみ処理費用の支援により、海岸漂着ごみ対策を行いました。

# 今後の取組の方向性

## ごみの減量化・資源化の推進

○ごみの排出量は、2016（平成28）年度以降ほぼ横ばいの状況となっています。なかでも燃やすごみの量が減らない状況であり、より一層、ごみの減量化・資源化の推進が求められる状況であることから、住民・事業者に対する啓発活動により、分別の徹底や減量化・資源化の促進に取り組めます。

## ごみの減量化・資源化の啓発

○町の責務として適正なごみ収集ができることを念頭に、より効率化したごみ収集体制を検討していくとともに、住民・事業者に対しては、排出者責任として、ごみの適正処理、ごみ減量化の推進についての啓発・指導を区（自治会（区））や環境美化推進協議会、事業者団体等を通じて継続的に行います。また、不法投棄、海岸漂着ごみ対策についても、区（自治会（区））や関係団体のみならず、国・県とも連携して行っていきます。

## 具体的な施策

### 循環型社会の構築

適切なごみの分別による減量化・資源化の啓発を継続的に実施するとともに、区（自治会（区））単位で取り組む資源化に対し、より一層の支援を行うことで、ごみの減量化・資源化を促進します。

また、マイバッグ運動に加え、ごみ減量化につながるアイデアを広く公募し、新たな町民運動を創設するなど、家庭や事業所からのごみの発生抑制に関する取組の推進を通じ、ごみの減量化・資源化を促進し、環境への負荷をできる限り低減したまちづくりを進め、循環型社会の構築をめざします。

### ごみ処理対策の推進

ごみの適切な分別方法や減量化・資源化推進を啓発するため、より分かりやすい「ごみの分け方・出し方ハンドブック」等の作成や、高齢者等に配慮した収集方法や収集体制について検討を行います。

また、環境美化に対する啓発を継続して行うとともに、不法投棄ごみや海岸漂着ごみの回収に加え、防止対策を具体化します。



### 〈 対応する SDGs の項目 〉



### 施策指標

2014 年度  
(前回値)

2019 年度  
(現状値)

2025 年度  
(目標値)

ごみの再資源化率 (%/年間)

...

20.5



20.4



21.4

住民 1 人 1 日あたりのごみ排出量  
(g/人・日)

...

-



858



845

### 〈 関連個別計画 〉

- 地球温暖化対策実行計画
- 北但地域循環型社会形成推進地域計画
- 一般廃棄物処理基本計画

### 〈 やってみよう 〉

- 自然エネルギーの積極的な導入
- 環境学習や環境保全活動への参画

